



**Point**  
 お客様へ  
 商品の魅力を  
 効果的にPRすること  
 ができました。

代表取締役専務 戸嶋 一之  
 としま かずゆき

# 素材を生かしたデザイン支援で新たな顧客獲得を目指す

## 素材の有効活用を図る

1959年に創業し、約60年以上曲げわっぱの生産を手掛けてきた株式会社大館工芸社は、今年2月に新ブランド「Blanc Pa(ブラン パ)」を発表した。曲げわっぱの材料には、通常、色味が均一で同規格のものが作れる秋田杉の「赤身」の部分を使用するが、同商品はそれに加え「白太」と呼ばれる部分も使用する。色ムラやバラつきが出るため、これまでは破棄されてきた規格外の部分だ。「2012年の天然秋田杉供給停止以降、同様の特徴を持つ樹齢100年以上の高樹齢材を素材として曲げわっぱの製造を続けています。しかし近年は高樹齢の秋田杉の確保が難しくなり、資源の有効活用をしなくてはと考えていました」と専務の戸嶋一之さん。さらにコロナ禍で百貨店での売り上げも落ち込む中、直接消費者とつながるDtc\*事業の確立を狙って、昨年5月から同商品の開発を進めてきた。

\*Dtc(Direct to Consumer)…対消費者直接取引

## ブランディング支援で商品価値をアップ

新ブランドの立ち上げにあたり、同社は活性化センターの知財・デザイン支援課を活用。SDGsに関心のある人や若い世代を主なターゲットに設定し、商品企画や販売方法についてアドバイスを得た。さらに、県内で伝統工芸品や地域のものづくりのブランディング等に携わる専門家の派遣を活用し、具体的な商品仕様やネーミングについて決定。赤身と白太が織りなすグラデーションを大自然が生み出した個性とし、「世界にひとつの特別な器」として消費者へPRしている。「商品の魅せ方をどのようにすればいいのかノウハウがない中、的確にアドバイスを受けることができた」と戸嶋さん。「今回のようにお客様の顔や声分かるDtcの割合を増やし、次の展開につなげていけたら、普段使いのテーブルウェアとして、曲げわっぱが身近な存在になれば嬉しいです」。

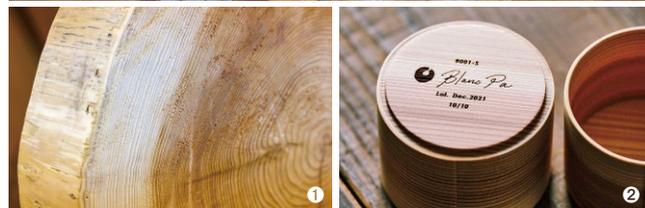
### センター活用事例

### [デザイン支援]

## 株式会社大館工芸社

〒017-0012 秋田県大館市釈迦内字家後29-15  
 TEL.0186-48-7700 FAX.0186-48-7711 <http://www.magewappa.co.jp>

ブランパ @blanc\_pa



①通常の曲げわっぱに使われる赤身の歩留まりは4割程度。  
 ②ひとつひとつ表情の異なる器にエディションナンバーを刻印。

### 活用事例

## 産業デザインに関する助言

産業デザイン、製品開発、マーケティング等についての専門的な助言や、デザイナーとのマッチング、コーディネートを支援します。

【お問い合わせ】 知財・デザイン支援課 TEL.018-860-5614

## 専門家の派遣

企業が抱える経営課題に対し、センターに登録されている各種分野の専門家を派遣し、診断・助言を行います。

【お問い合わせ】 総合相談課 TEL.018-860-5610